

コミュニケーション

丹波地域においてコミュニケーションは必要不可欠です。人と人との関わりがその人の人生を豊かにし、ひいては地域が維持されていきます。そのコミュニケーションのあり方は2050年の未来ではどのように変わっていくのでしょうか？

No.1 / ヒント :

誰もが一緒にいて心地よい関係性が築かれた田舎コミュニティの誕生

自分とは何か、を強く持っている自我の強い人が増える一方で、その自我を他者が認め、受け入れ、協調し合いながら関係性を築くことができることで、自己肯定感、他者肯定感を持ち得た他者との関係が心地よいコミュニティが田舎に生まれる

背景：自己理解、他者理解が双方に進み、個性が活きる、他者を尊重し合える世界ができれば、精神的な幸せが生まれると思う

効果：心地よいコミュニティの確立により人が集まってくることができ、地域に人が集まるきっかけになり、人口減少の抑制につながる。

No.2 / ヒント : 良いコミュニティ×キャッシュレス

その人のよさがお金になる

貨幣価値以外の価値がつくられ、その価値によりモノの売買が行われる

背景：キャッシュレス化が進む中、いずれお金を払ってモノを買うということ自体がなくなり、その人が持つ「人のよさ」が数値化され、それで経済が回るようになる。

効果：「人のよさ」の数値が高いほどモノが買える。そのため、個々人がそれを高めようと努力し、住みやすい街になる。

No.3 / ヒント : 過密交流×ベーシックインカム

ボランティアの価値が向上

田舎の煩わしいコミュニケーションの価値が向上し、田舎の魅力アップ

背景：ベーシックインカム制度によりボランティアの価値が高まり、地域維持のための草刈りやコミュニケーションをあえてやりたいと感じる人が増える

効果：丹波の治安が維持され、移住者も増える

No.4 / ヒント : 過密交流×大災害

助け合い精神で大災害時も安心

大災害が起きたときに田舎での助け合い精神がクローズアップされ、田舎の価値が向上する

背景：未来では大災害が何度か起こることが想定されるが、その際に地域住民同士の密なコミュニケーションが重要となる

効果：移住者が増える

No.5 / ヒント : 過密交流×人口減少

コロナ感染予防対策移住

30年後もコロナは完全に消えておらず、感染の可能性の低い人口の少ない田舎を求めて移住する人が増える。

背景：人口の多い都会に住んでいると、毎日コロナ感染の不安と共に生活するのが当たり前になり、そのストレスから逃げ出すため人口の少ない田舎に移住するようになる。

効果：都会と田舎の価値観が逆転し、都会の人口が減って田舎の人口は増える。

No.6 / ヒント :

フリーアドレス地区

市域を一括管理し、市民は自分の家を所有することなく、その日その日を好きな場所で過ごす。

背景：地域の流入ハードルが高くなる。

効果：地域への流入のハードルが下がる。魅力的な地域を創出することで多くの交流人口を獲得できる。

No.7 / ヒント : 過密交流×高度な移動

空中に住む

家が土地に構えるものではなく、成層圏まであたりの空中に家を建てられるようになる。

背景：都市部はこれ以上建物が建てられない。

効果：地震や津波が来ても大丈夫。

No.8 / ヒント : 良いコミュニティ×戦争

楽しい戦争

戦争しなくなったら、30日間いろいろなジャンルのゲームで勝負をする。武力行使した場合は、他国から一切の援助を受けられなくなる。負けても楽しかったから険悪にならない。協力し合いたくなる。

背景：戦争はいろんなものを失う。失わない戦いをしよう。

効果：楽しいゲームだから敵国でも友達になれる。友達は助けたい。あたたかい世界になる。

No.9 / ヒント : 良いコミュニティ×AIの発展

適したコミュニティの自動提案

IT端末のIPアドレスから、その個人に最高のコミュニティをAIが自動で提案してくれる。

背景：AIが自動でコミュニティの支援を行う。

効果：自分にとっていい人に出会える。

No.10 / ヒント: 良いコミュニティ×田舎の概念が変わる

趣味が集まるみらい都市

田舎を様々な趣味があるまる観光の街にしていく。普段の管理は管理人がしてくれるようになっていて、都市で働く人々の趣味や副業を簡単に行える場所に。

背景: 今後、リモートでの仕事が増えはたらき方が大きく変わっていく。その中で都市ではできないような、キャンプや野外活動、農業を都市でできる場所をつくる。

No.11 / ヒント: 良いコミュニティ×高度な移動

コミュニティーカー

人とのコミュニケーションを移動中に行うコミュニティーカーの実現。田舎ならではの人の良さが丹波地域の車移動が人気に。

背景: 車は一人一台ではなくグループでの共有所有物となる。もちろん自動運転。

No.12 / ヒント: 良いコミュニティ×エンタメ

VR 近所

VRを通して遠くの人と近所気分を味わえる。一緒に BBQ したり、井戸端会議ができる。VR 空間はもちろん、丹波地域がモデル。

背景: VRによって遠くにいても身近に感じられるようになる。

No.13 / ヒント: 良いコミュニティ×電腦空間

バーチャルいなか

草引きや消防など、リアルな田舎を模したバーチャル空間が作られる。もちろん、丹波地域がモデル。

背景: VRによって高度なバーチャル空間が実現できる。

No.14 / ヒント: 良いコミュニティ×AIの発展

AIによる田舎コミュニケーションの良さの証明がされる

「良いコミュニケーションとは何か」がAIによって分析され、田舎のコミュニケーションが良いと証明される。丹波地域がそのモデルとなる。

背景: AIによってあらゆる物事は定量化され、その良し悪しが客観的に判定できる。

No.15 / ヒント: 良いコミュニティ×全自動化

田舎のおばちゃんモデル AI

AIの発展で、いろんなモデルのロボットが作られる。関西のいなかのおばちゃんというテーマで、丹波地域のちょうどいい田舎のおばちゃんモデルが作られる。

背景: 田舎のおばちゃんはすごい!

No.16 / ヒント: 良いコミュニティ×死後の世界

お盆 VR

死者の生前の声や性格を予めデータ化し、死後に VR でコミュニケーションが取れるようになる。田舎のお盆の時期にそれを導入し、親戚一同でご先祖と楽しい1日を過ごす。

背景: 死者と擬似的にコミュニケーションがとれる仕組みが生まれる。

No.17 / ヒント: 良いコミュニティ×趣味で生きていける

交流都市「丹波」

バーチャルコミュニケーションが栄える中、丹波地域ではあえて人と人との交流を大事にする「交流都市」として、人気を博す。

背景: 何もしなくていい、となると結局最後は人とのコミュニケーション欲求が生まれる。

No.18 / ヒント: 良いコミュニティ×ベーシックインカム

コミュニティ価値文化

質の高いコミュニケーションが取れるかどうか、人生において重要となる未来において、丹波地域は「田舎のコミュニティ」としての価値を高める。

背景: ベーシックインカムの導入によりお金の価値が下がり、他の価値が優勢となる。それがコミュニケーションである。

No.19 / ヒント: 良いコミュニティ×新エネルギー

おせっかいエネルギー

人に親切にした人に対してエネルギーが分け与えられる「おせっかいエネルギー制度」。丹波地域の人たちはおせっかいな人が多いので、丹波地域にエネルギーが分け与えられる。

背景: 人口減によりエネルギーが有り余る未来において、過剰なエネルギーは何らかの形で再分配が行われる。

No.20 / ヒント: 良いコミュニティ×教育の高度化

歴史的コミュニケーション教育

田舎の複雑なコミュニケーションのあり方がモデルケースとなり、未来では「昔の田舎のコミュニケーション」という分野の教育が行われる。丹波地域はそのモデルとなる。

背景: 新しいコミュニケーション手法ではなく歴史的なコミュニケーション手法を学ぶ教育が生まれる。

No.21 / ヒント : 良いコミュニティ× AI 問題

AI に叱るおばちゃん

正しいとされる AI に対して、親身になって叱ってくれる丹波地域のおばちゃんは AI の学習過程に置いて良いモデルとなる。

背景 : AI= 正解、と信じられてる未来が訪れる。

No.22 / ヒント : 良いコミュニティ× AI の発展

謝罪代行 AI

田舎のコミュニケーションは人との密なつながりによって形成される。謝罪を代行する AI の活用で田舎のコミュニケーションは円滑になる。

背景 : AI の発展により人とのコミュニケーションを代行できるようになる。

No.23 / ヒント : 良いコミュニティ× AI の発展

噂撲滅 AI

田舎のコミュニケーションにおける根も葉もない噂が、嘘か本当かを判断できるようになり、田舎のコミュニケーションは円滑になる。

背景 : 情報が嘘かどうかを判断できる AI が登場する。

No.24 / ヒント : 良いコミュニティ×キャッシュレス

コミュニケーション決済

人とのコミュニケーションは人を幸せにするため、価値が高い。あらゆることに対してお金が回る時代において、田舎の積極的なコミュニケーションは価値が高くなる。

背景 : 人とのコミュニケーションは人にとって高い価値を占める。

No.25 / ヒント : 良いコミュニティ×田舎の概念が変わる

田舎養子制度

実の田舎 (故郷) を地方に持たない人のための田舎縁組制度。何か所と結んでもいい。帰省時の宿泊場所の提供、季節ごとの贈り物などが届く。その代わり祭りへの参加必須とか労働力や都会のノウハウの提供 (都会に行った娘や息子が実家で手伝うイメージ) のお返しが必要になる。

背景 : 都会暮らし 3 世代目が増え、地方に田舎がない人が増えるため、本来の意味での「田舎 (故郷)」に縛られずに地方との関係性をつくる人が増える。田舎養子縁組、みたいなイメージ。

No.26 / ヒント :

Youtube 配信地区

丹波地域の特定のエリアを Youtube 配信地区として、常に生放送を行う。

背景 : テレビではなくネット配信の閲覧が主流になる。

No.27 / ヒント : 良いコミュニティ×AI 問題

丹波のコミュニティで育つ AI

丹波の人の良いコミュニティで AI を育て、優しい心を持った AI を生み出す。
背景 : AI は特定の環境で自己学習することで、様々な個性を発揮する。

No.28 / ヒント : 過密交流×戦争

戦争する意味がなくなる

人口過密が緩和され、資源を奪い合う意味がなくなり、戦争はなくなる。

No.29 / ヒント : 良いコミュニティ×電腦空間

眠る必要がなくなる

人体の研究が進み、眠る必要がなくなり VR 空間で好きな仲間と居続けられる。

No.30 / ヒント : 良いコミュニティ×田舎の概念が変わる

水や食料のアクセスポイント

田舎是水・食料など資源にアクセスしやすい場所として人気が出る。

No.31 / ヒント : 過密交流×電腦空間

バーチャルリアリティ in 地方

XR 技術を駆使し、チームラボの更に没入感が高いバージョンの空間を地域に合わせて作る。

No.32 / ヒント :

謙遜禁止教育

謙虚であることは美学とされがちだが、今後個性を重視する時代においては謙遜する精神性は自己主張の妨げとなる可能性があるため、教育段階からそれを禁止とする。

No.33 / ヒント :

ライブスタジオ集落

その集落の中であればどの時間でもどの場所でも音楽を鳴らして大丈夫。豊かな自然の中で自由に制作活動が可能。

No.34 / ヒント :

ミニチュアジャパン

文化体験型の施設として、日本を集約した場を作ることで、丹波に行けば日本全国のあらゆるものが体験できる。

No.35 / ヒント :

超ファッションナブルな民族衣装の定着

あらゆるものが同質化する中で、変わらずに残るものって大事。

No.36 / ヒント :

仮想死後の世界

実際には死後の世界にはまだ到達していない。社会的に死を選んだ人が住ま町。

No.37 / ヒント : 良いコミュニティ×AI の発展

農村部には、人は考える葦コミュニティが盛ん

都市部の人は、AI などが産み出され、それを享受するだけの生活者が多い。自然の溢れる農村部では、頭を使って人間らしい生活をするためにコミュニティが生まれている。

No.38 / ヒント : 良いコミュニティ×AI の発展

AI ファシリテーター

争いや議論の中で活躍する AI ファシリテーターを導入し、人同士の会話を円滑に進められるようにする

No.39 / ヒント : 良いコミュニティ×宇宙進出

宇宙人が宇宙観光案内

宇宙人が地球に来るので、宇宙人向けの観光案内を用意する。

No.40 / ヒント : 良いコミュニティ×職がなくなる

食べれるから働かない社会

丹波地域では自動農業で食が満たされるため働かない社会になる。

No.41 / ヒント : 良いコミュニティ×新エネルギー

野菜が一瞬で育つようになるエネルギー

野菜の収穫周期が短くなり生産性を向上させるエネルギーが登場する。

No.42 / ヒント : 良いコミュニティ×高度な配送・転送

ドローンコミュニケーション

ドローン同士でコミュニケーションをとれるようになる。鳥とも会話できる。

No.43 / ヒント :

自治区の形成

丹波地域に明確な自治区を形成し、管理しやすくする。

No.44 / ヒント :

テーマ別集落

各テーマに特化した集落を作り出す。

No.45 / ヒント :

遊び心検定

遊び心を調べる検定を作って、遊び心を持つことの大切さを伝える。

No.46 / ヒント :

同性婚認定

同性婚を認定し、差別のない地域づくりを行う。